

令和7年度 第3回石薬師小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年12月3日（水）13：15～14：25

2 場 所 石薬師小学校会議室

3 あいさつ等

- ・委員長、校長挨拶

4 音楽会発表曲鑑賞

＜感想＞

- ・子どもたちは夏休みから練習していた。夏休みのときは大丈夫か不安だったが、上手に演奏、合唱していた。
- ・会の始めに子どもたちが話していたが、声が小さくて聞こえなかった。話す練習もした方がよい。
- ・演奏後自分たちの表現について一人ひとりに感想を聞いていたのがよかったです。これからは自分の意見をきちんともち、伝える力が必要。
- ・子どもたちの目が生き生きとしていて楽しそうだった。
- ・4年、5年と異なった学年が演奏していたが、まとまっていたのが石薬師のいいところだと感じた。
- ・下級生も鑑賞できる機会があるとよいなと思った。
- ・いつもとはまた違う子どもたちの様子を見られて感動した。
- ・音楽会を市民会館で開催してほしい。中学校は交代制で市民会館で開催できているのに、小学校はなぜしていないのか。

5 全国学力調査・みえスタディチェックの結果から

- ・3教科とも県、全国より下回っている。また、C・D層の児童の割合が全国と比べて高い。この層を上げていく取組を進めていきたい。
- ・非認知能力育成との相乗効果による学びの推進を行っていく。
- ・非認知能力についての子どもたちの意識は全国よりも高い。

＜感想＞

- ・昔は正解を出すことを目的とした授業だったが、今回研究発表会で見た授業はなぜ間違ったのかということについて考えることで間違えたことも間違ったことにしないというような授業であった。
- ・C・D層の比率が高いことは難しい問題。
- ・小学校時代に非認知能力を高めておくことが、中学校、高校で伸びる力の基礎となる。今後も非認知能力を高める取り組みを進めて欲しい。
- ・パソコンを文房具のように使うという考えに納得した。
- ・これはなぜだろう、どうしてだろうと考える力が社会で仕事をする上で大切な力となる。柔軟な対応ができる力を小学生のうちから育んで欲しい。
- ・宿題に取り組む姿勢を見ていると、答えを写したり、文章が読めなかつたりすることがあります。
- ・自己肯定感が100%は嬉しい。
- ・子どもたちの学力の差が広がってきてている。
- ・家庭でも学力に関して関心を高めて欲しい。

6 その他

- ・インフルエンザの流行について→かかりやすい人とそうでない人がいる。流行を抑えるための対策をとって欲しい。
- ・学校評価について→次回今年度の成果と課題を記入したものを配らせてもらうので、付度なしでご意見をいただきたい。
- ・合同運営協議会への代表参加者について
- ・校庭の使用禁止の遊具について→劣化のため使用できない。修繕待ち。